

お知らせ

早めの接種をご検討ください



### 新型コロナウイルスワクチンについて (10月31日現在)

問合せ/健康づくり課 (978-7100)

オミクロン株対応ワクチン(2価ワクチン)の接種が始まっています。オミクロン株対応ワクチンは、今後の変異株に対しても従来株のワクチンより有効である可能性が高いと期待されています。

#### ○オミクロン株対応ワクチンの接種対象者

2回目接種を終えた12歳以上のすべての人。現時点では1人1回です。

※4回目接種を従来株のワクチンで接種済みの人は、5回目でもオミクロン株対応ワクチンを接種します。

#### ○接種券について

前回接種から3か月経過している人に順次接種券を発送しています。(接種券紛失の場合は再発行の申請を窓口へお願いします。)前回の接種記録に誤りや登録されていない事もあります。接種済み証に誤りがある場合や3か月経過しても接種券が届かない場合はご連絡ください。

#### ○接種体制について

集団接種と医療機関での個別接種。日程などの詳細は、随時町ホームページへ掲載します。

#### ○予約について

##### ①コールセンターで予約

0570-00-5676(平日8時30分～17時15分)

##### ②インターネットで予約

インターネット予約はこちら  
<https://v-yoyaku.jp/220003-izukyodo>



#### 1・2回目接種がまだお済みでない人へ

年内で1・2回目用のワクチンの供給が終了します。オミクロン株対応2価ワクチンは1・2回目接種が完了しないと接種できませんので、なるべく年内に接種を受けてください。

接種券を紛失してしまった場合や転入などで届いていない場合は、健康づくり課窓口まで身分証をご持参いただき、申請をお願いします。

お知らせ

定期的な受診をしましょう



### 日曜日に子宮頸がん検診を受けよう!

問合せ/三島マタニティクリニック (979-0192)

20代、30代の女性のがんでもっとも多いのが子宮頸がんです。子宮頸がん発症の最大の原因はHPV(ヒトパピローマウイルス)感染です。全女性の80%が一生に1度は感染するウイルスです。町でも若い人のこのウイルスによる前がん病変の段階が高頻度で見つかっています。

若いうちからがんを予防するには、がん検診が必要です。次の日程に限り、20～30代の人のために日曜日に検診を行います。普段平日ではなかなか時間が取れない人は、この機会に受診してみませんか。

#### ○日時

12月4日(日) 9時～11時

#### ○場所

三島マタニティクリニック(間宮451番地)

#### ○対象

町に住民票がある受診券年齢が20歳～39歳の女性

#### ○募集人数

15人

#### ○検査当日の持ち物

成人健康診査受診券、健康保険証、診察券(ある人のみ)

#### ○申込み

受診を希望する人は三島マタニティクリニックホームページ「初診」のページからWEB予約でお申し込みください(診察券をすでにお持ちの人も初診のページからご予約ください)。

インターネット予約はこちら  
<http://mm-c.sakura.ne.jp/>



#### ○その他

予約後にキャンセルしたい場合は三島マタニティクリニックまで直接ご連絡ください。

お知らせ

地域共生社会の実現を目指しましょう



### 12月3日～12月9日は障害者週間です

問合せ/福祉課 (979-8127)

町内に暮らす約37,000人のうち、何らかの障害のある人は約2,000人います。

町では、函南町障害者自立支援協議会(通称:あいのわネット)と連携し、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの一つとして、障害についての理解を深め、人格と個性を尊重し支え合う「地域共生社会」の実現を目指しています。

#### ○障害の種類

▶**身体障害**/視覚障害、聴覚障害、言語障害、手足の不自由、心臓・腎臓・呼吸器などの内臓機能の障害など生まれつき症状がある人や事故・病気によるものなど。

▶**知的障害**/先天的に理解力や判断力に個人差があったり、人や環境になじみにくかったりし、生活に支障がある。ちょっとした声かけなどの支援で解決することも多く、軽度の場合は本人も周囲も気付かないことがある。

▶**精神障害**/ストレスや生活環境など、何らかの原因によって脳内の神経伝達物質のバランスが崩れ、統合失調症やうつ病など精神の病気により、長期にわたって日常・社会生活に支障のある状態など。

#### 障害のある人を理解することから始めましょう

障害には、生まれつきのものだけでなく、交通事故や脳梗塞などの後遺症で手足が不自由になるなど、不自由なく暮らせている人でも、誰でも障害のある人になる可能性があります。

障害による不自由さがあっても、周囲の理解や配慮があれば、その人の生活の幅は広がっていきます。町民の皆さんが、障害のある人の生活面での困難さを理解し、障害のある人をサポートする行動を自然なかたちで行えるそんなまちづくりを目指しています。

まず、第一歩として、障害を理解することから始めましょう。

お知らせ

教育行政について話し合います



### 函南町教育委員会 新教育委員が決まりました

問合せ/学校教育課 (979-8121)



▲後列左から宮城島委員、勝俣委員、前列左から小永井委員、渡邊委員、久保田教育長

9月の町議会で同意を得て渡邊博文さん(軽井沢)が教育委員に再任されました。

教育委員会は、久保田教育長を含め5人の委員で構成され、「生涯にわたる、学びを支える教育・文化づくり」を基本目標とした町の教育行政を推進しています。

お知らせ

障害について理解を深める



### 函南あいのわ ふれあいマルシェ

問合せ/障害者(児)基幹相談支援センターリベルテ(978-4187)、福祉課(979-8127)

#### ○日時・場所・内容

①日時/12月3日(土) 10時30分～15時30分

場所/道の駅伊豆ゲートウェイ函南

内容/町内障害者事業所の製品販売、ワークショップ、点字ブロック歩行体験など

②期間/11月30日(水)～12月12日(月)

場所/函南町役場1階 町民ホール

内容/町内の障害福祉に関わる団体・事業所の活動紹介、アート作品の展示

※最新情報はSNSでご確認ください。

facebook QRコード



instagram QRコード

